

## 1. 略歴

- 1985年3月 静岡県静岡聖光学院高等学校卒業  
1985年4月 東京大学教養学部文科三類入学  
1989年3月 同 文学部英語英米文学科専修課程卒業  
1989年4月 東京大学大学院人文科学研究科（英語英米文学専攻）入学  
1992年3月 同 修士課程修了・修士（文学）  
1993年10月 連合王国ケンブリッジ大学大学院博士課程入学（英米文学専攻）  
1997年5月 同博士課程修了 博士号取得（文学）  
タイトル：‘Wallace Stevens and the Aesthetic of Boredom’  
1992年4月 東京大学文学部英語英米文学科助手  
1993年4月 帝京大学文学部助手  
1997年4月 帝京大学文学部専任講師  
2001年4月 東京大学大学院人文社会系研究科助教授

## 2. 主な研究活動

### a 専門分野

英米文学

### b 研究課題

英語圏の詩、とくに20世紀におけるイギリスやアメリカの詩の研究を中心とする。個々の詩作品の緻密な解釈と、作品を作品たらしめる力学の解明に向けた努力を研究の中心としつつ、同時に、「なぜ詩でなければならないか？」という素朴な疑問との取り組みをも新たな課題とする。詩を自足的なジャンルとみなすのではなく、「詩的であること」を絵画・舞台芸術、スポーツ、インターネット空間などとの関係でとらえることもテーマとする。

### c 主要業績

#### (1) 著書

- その他(自由入力)、玉井暲、『英米文学の可能性 — 玉井暲教授退職記念論集』、英宝社、2010  
単著、阿部公彦、『英語文章読本』、研究社、2010.3  
単著、阿部公彦、『小説的思考のススメ — 「気になる部分」だらけの日本文学』、東京大学出版会、2012.3

#### (2) 論文

- Masahiko ABE, 「"What's Wrong with the Stomach Specialist?: The Ethics of Stomach Disorder in Bernard Malamud's "The Magic Barrel"」、『The Japanese Journal of American Studies』、21、67-88 頁、2010  
阿部公彦、「凝視の作法： 太宰治と注意散漫」、『文學界』、4月号、218-227 頁、2010.4  
阿部公彦、「凝視の作法： 読書人の投票行動」、『文學界』、5月号、232-42 頁、2010.5  
阿部公彦、「英語文章読本： 読んだふり——ジョージ・オーウェル『一九八四年』（上・下）」、『Web 英語青年』、5・6月号、2-9、25-39 頁、2010.6  
阿部公彦、「凝視の作法： 選挙と抒情詩の変な関係」、『文學界』、6月号、278-88 頁、2010.6  
阿部公彦、「凝視の作法： 朔太郎が詩を終わらせるためにしたこと」、『文學界』、7月号、216-26 頁、2010.7  
阿部公彦、「英語文章読本： 真心——オスカー・ワイルド『幸福な王子』（上・下）」、『Web 英語青年』、7・8月号、2-9、2-13 頁、2010.8  
阿部公彦、「凝視の作法： 柄谷行人と詩」、『文學界』、8月号、194-204 頁、2010.8  
阿部公彦、「凝視の作法： マーク・ロスコの読み方」、『文學界』、9月号、222-32 頁、2010.9  
阿部公彦、「凝視の作法： “志賀嫌いの真相」、『文學界』、10月号、214-24 頁、2010.10  
阿部公彦、「英語文章読本： 恥ずかしさ——ライオネル・トリリング『アメリカの現実』（上・下）」、『Web 英語青年』、10・11月号、2-11、2-9 頁、2010.11  
阿部公彦、「凝視の作法： 志賀直哉とモランディの儀式」、『文學界』、11月号、220-30 頁、2010.11  
阿部公彦、「凝視の作法： 夏目漱石のフラクタル」、『文學界』、12月号、216-26 頁、2010.12  
阿部公彦、「英語文章読本： 疑問文——『ヨブ記』（上）」、『Web 英語青年』、12・1月号、36-48、13-21 頁、2011.1  
阿部公彦、「凝視の作法： 大江健三郎の魔法」、『文學界』、1月号、230-40 頁、2011.1

- 阿部公彦、「凝視の作法： 導く視線 — 清張、カーヴァー、マンダラ」、『文學界』、2月号、222-33頁、2011.2
- 阿部公彦、「英語文章読本： つぶやき——レイモンド・チャンドラ『長いお別れ』(上)、『Web 英語青年』、2・3月号、2-9, 2-15頁、2011.3
- 阿部公彦、「凝視の作法： 文学がわかる、ということ」、『文學界』、3月号、228-41頁、2011.3
- 阿部公彦、「女を嫌うための作法」(上・下)(連載「善意と文学」)、『Web 英語青年』、3・4月号、16-25, 2-11頁、2011.3
- 阿部公彦、『『スー』と『アッ』のテキスト論』(連載「善意と文学」)、『Web 英語青年』、4月号、18-27頁、2011.4
- 阿部公彦、『『怪人二十面相』はなぜ『ですます』なのか』(連載「善意と文学」)、『Web 英語青年』、5月号、11-27頁、2011.5
- 阿部公彦、「宮沢賢治は何を遠慮しているのか?」(上・下)(連載「善意と文学」)、『Web 英語青年』、6・7月号、13-23, 2-12頁、2011.6
- 阿部公彦、「ナサニエル・ホーソン『七破風の家』の気遣う語り手」(上・下)(連載「善意と文学」)、『Web 英語青年』、8・9月号、2-11, 2-13頁、2011.8
- 阿部公彦、「シェイクスピアの恋愛術」(上・下)(連載「善意と文学」)、『Web 英語青年』、11・12月号、2-14, 2-14頁、2011.11
- 阿部公彦、「英会話の起源」(上・下)(連載「善意と文学」)、『Web 英語青年』、1・2月号、2-14, 2-21頁、2012.1

### (3) 書評

- イーディス・シットウェル著・藤本真理子訳、『凍るU』、書肆山田、阿部公彦、『図書新聞』、2010年9月4日、4頁、2010
- マルコム・ラウリー著・斎藤兆史監訳、『火山の下』、白水社、阿部公彦、『産経新聞』、2010年5月16日版、10面、2010.5
- 丸谷才一、『文学のレッスン』、新潮社、阿部公彦、『群像』、2010年8月号、332-33頁、2010.8
- ウィリアム・トレヴァー著・榎木伸明訳、『アイルランド・ストーリーズ』、国書刊行会、阿部公彦、『週刊読書人』、2010年10月15日、5頁、2010.10
- 絲山秋子、『妻の超然』、新潮社、阿部公彦、『群像』、12月号、346-47頁、2010.12
- 絲山秋子、『未畜』、講談社、阿部公彦、『文學界』、5月号、266-67頁、2011.5
- 池澤夏樹監修、『世界文学全集 短篇コレクションI』『同 II』、集英社、阿部公彦、『図書新聞』、2011年5月21日、4頁、2011.5
- 亀井俊介、『英文学者夏目漱石』、松柏社、阿部公彦、『図書新聞』、2011年8月6日号(3025号)、2011.8
- ベルンハルト・シュリンク著・松永美穂訳、『週末』、新潮社、阿部公彦、『週刊読書人』、2011年9月23日号、7頁、2011.9
- 山崎ナオコーラ、『ニキの屈辱』、河出書房新社、阿部公彦、『群像』、11月号、378-79頁、2011.11
- ジョナサン・フランゼン著・黒原敏行訳、『コレクションズ』、早川書房、阿部公彦、『図書新聞』、2011年11月26日号、5頁、2011.11
- イアン・マキューアン著・松村潔訳、『ソーラー』、新潮社、阿部公彦、『文學界』、2011年12月号、302-303頁、2011.12
- 鴻巣友季子、『本の寄り道』、河出書房新社、阿部公彦、『週刊読書人』、2011年12月2日号、6頁、2011.12
- サンティアゴ・ノバーレス著・木村榮一訳、『キャンパス』、ヴィレッジ・ブックス、阿部公彦、『週刊文春』、2012年2月2日、120頁、2012.2
- 有元志保、『男と女を生きた作家 — ウィリアム・シャープとフィオナ・マクラウドの作品と生涯』、国書刊行会、阿部公彦、『週刊読書人』、2012年2月24日、5頁、2012.2

### (4) 解説

- 阿部公彦、『『完全犯罪』(スナップル劇場センター) — 殺されるのはいつも知らない人』、『悲劇喜劇』、1月号、6-7頁、2011
- 阿部公彦、「批評の温度」、『小島信夫批評集成⑥ 私の作家遍歴Ⅲ』(水声社)、465-76頁、2011

### (5) 学会発表

- 国内、阿部公彦、「シェイクスピアの恋愛術 — 『コピペする語り手』の演出をめぐる」、日本英文学会九州支部大会シンポジウム、九州大学箱崎キャンパス、2010.10.30
- 国内、阿部公彦、「カタイ本の明るい未来」、「図書館総合展」、パシフィコ横浜、2010.11.24

国内、阿部公彦、『七破風の家』の!!!をめぐって」、日本ナサニエル・ホーソン協会・第30回大会・シンポジウム、西日本総合展示場、2011.5.21

国内、阿部公彦、「敗北と文学」、久住夏季セミナー、長湯温泉、2011.8.18

国内、阿部公彦、「英文学と事務能力 — 夏目漱石を中心に」、日本英文学会北海道支部支部大会、札幌学院大学、2011.10.1

国内、阿部公彦、「言いたいことのない詩人 — ウォレス・ステイヴンズの後期作品」、日本アメリカ文学会全国大会、関西大学、2011.10.8

国内、阿部公彦、「詩と〈私〉の困難をめぐって — 西脇順三郎とW・B・イエイツ」、神戸市外国語大学セミナー、神戸市外国語大学、2011.10.10

国際、阿部公彦、「詩の仕事」、松山大学英語圏文化・文学研究会 第2回研究大会、松山大学、2011.12.10

#### (6) 啓蒙

阿部公彦、「トルーマン・カポーティ『ティファニーで朝食を』、『NHKテレビテキスト ギフト ～E名言の世界』、4月号、118-21頁、2010.4

阿部公彦、「ジョン・キーツ『ギリシャ壺に寄せるオード』、『NHKテレビテキスト ギフト ～E名言の世界』、5月号、114-17頁、2010.5

阿部公彦、「ウォルト・ホイットマン『ぼく自身の歌』、『NHKテレビテキスト ギフト ～E名言の世界』、6月号、112-15頁、2010.6

阿部公彦、「名言の名手 オスカー・ワイルド』、『NHKテレビテキスト ギフト ～E名言の世界』、7月号、116-19頁、2010.7

阿部公彦、「謎に包まれた伝説の詩人 エミリー・ディキンソン』、『NHKテレビテキスト ギフト ～E名言の世界』、8月号、116-19頁、2010.8

阿部公彦、「ジョージ・エリオット『サイラス・マーナー』、『NHKテレビテキスト ギフト ～E名言の世界』、9月号、118-21頁、2010.9

阿部公彦、「ウィリアム・シェイクスピア『ソネット集』、『NHKテレビテキスト ギフト ～E名言の世界』、10月号、118-21頁、2010.10

阿部公彦、「ウィリアム・シェイクスピア『ソネット集』その2』、『NHKテレビテキスト ギフト ～E名言の世界』、11月号、114-17頁、2010.11

阿部公彦、「アーネスト・ヘミングウェイ『老人と海』、『NHKテレビテキスト ギフト ～E名言の世界』、12月号、100-113頁、2010.12

阿部公彦、「超絶主義者の中の個人哲学 ヘンリー・ディヴィッド・ソロー』、『NHKテレビテキスト ギフト ～E名言の世界』、1月号、114-17頁、2011.1

阿部公彦、「『絶望』と仲良しになるために フィリップ・ラーキン』、『NHKテレビテキスト ギフト ～E名言の世界』、2月号、114-17頁、2011.2

阿部公彦、「恋愛について考えてみませんか? ジェーン・オースティン『高慢と偏見』、『NHKテレビテキスト ギフト ～E名言の世界』、3月号、116-19頁、2011.3

阿部公彦、「しようと思ったことができない病』、『図書』、6月号(748号)、18-20頁、2011.6

阿部公彦、「由良先生とコールリッジ顔のこと — ワーズワスを教えたい(1)』、『図書』、12月号(754号)、12-17頁、2011.12

阿部公彦、「記憶の捏造をめぐって — ワーズワスを教えたい(2)』、『図書』、1月号、31-35頁、2012.1

阿部公彦、「突然の人 — ワーズワスを教えたい(3)』、『図書』、2月号(756号)、25-29頁、2012.2

#### (7) 会議主催(チェア他)

国内、「日本アメリカ文学会東京支部月例会」、チェア、「モダニズムの詩学を問い直す — 詩と散文の交錯」、慶應義塾大学三田キャンパス、2010.6.26～2012.6.26

### 3. 主な社会活動

#### (1) 他機関での講義等

非常勤講師、慶應義塾大学、「英文学演習」、2011.4～

非常勤講師、福岡女子大学、「イギリス文学特別講義 I I」、2011.8～

#### (2) 学会

国内、日本アメリカ文学会、代議員、2010.4～2011.3

国内、日本アメリカ文学会東京支部、評議員、2010.4～

国内、日本英文学会、事務局長、2010.4～2011.5